

俺が淫乱

な斎藤家の

娘

になつてしまつた件



女子高生に

3

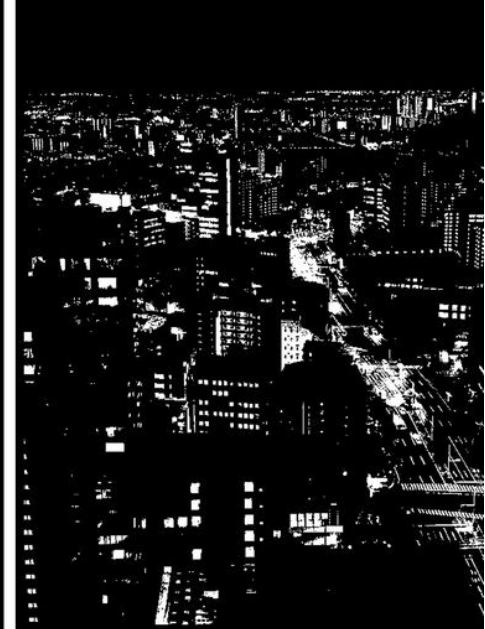
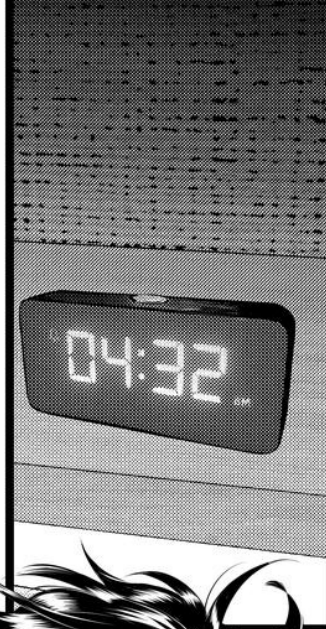
なつて初めての登校で

電車痴漢に

遭うなんて



眠れない...



セックス中に...



頭の中はあの2人が
挿入するところばかりで、
モヤモヤして体が熱い。

セックス...
セックスしたい。

なんでだろう？
女になってからの
女性ホルモンの
影響だろうか。



では俺も...

愛持ちは...







スゲーなあ…
めっちゃ
柔らかいじゃん。

昔はこんなに
大きくなかったよね。
しばらく見ない
間だいが栄養が
よかったようだね



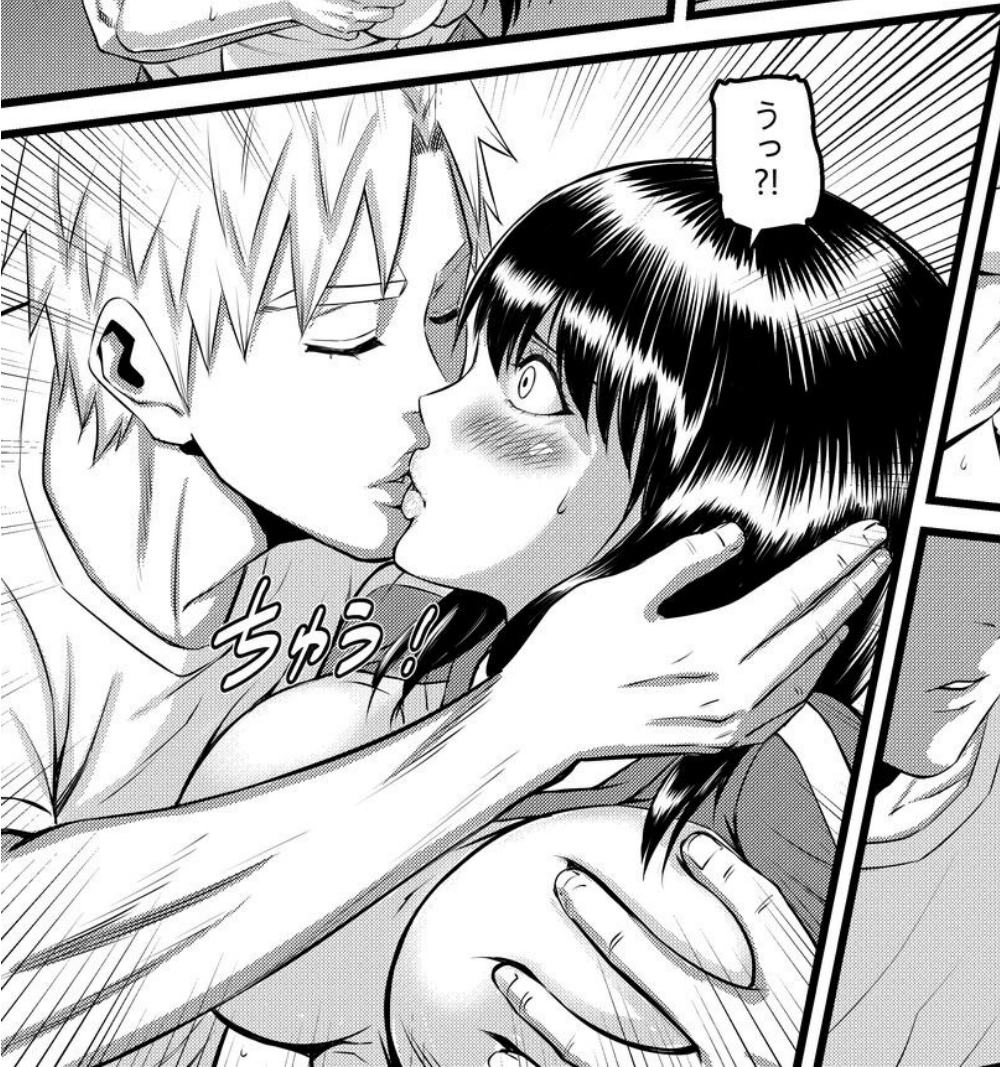
ちよっと！
何してるんの！

こいつ気でも
狂ったか!?



こいつ何を言ってるの？
まさか以前から妹に
こんなことを
していたのだろうか。
人でないだ！

放して！



うっ？！



私たちは兄妹だよ！
そんなことしては
いけない……







痛…三

痛いけど、
気持ちいい…

おっぱいが…
引っ張られて
壊れそう 壊れる!!

あ! イクツ!!



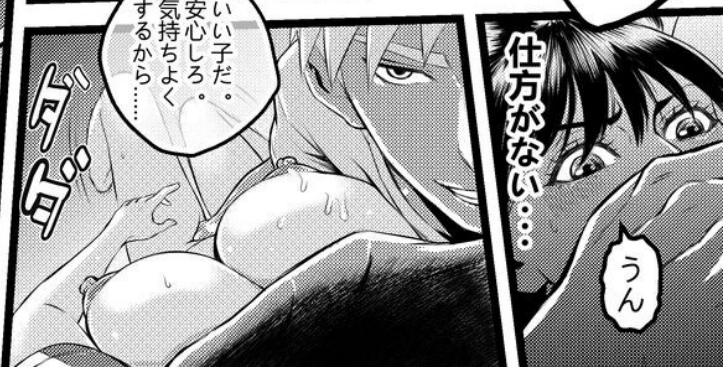
乳首だけで
イッちゃうなんて、
お前はますます
淫乱だな…

じゃあ、
次は違うところを
いじってみよう



脳が真っ白になる…
気持ちいい…

俺は一体
どうしたんだ…
男にイカされるなんて







あ!!

我慢できない!!

射精? 女も
射精するの!?



グチュ

ああ...

え?
なにこれ!
気持ちいい!

ぐ!!

グチュ

グチュ



ああ...

グチュ

ああ...



出す!!!

あああああ
あああああ!!

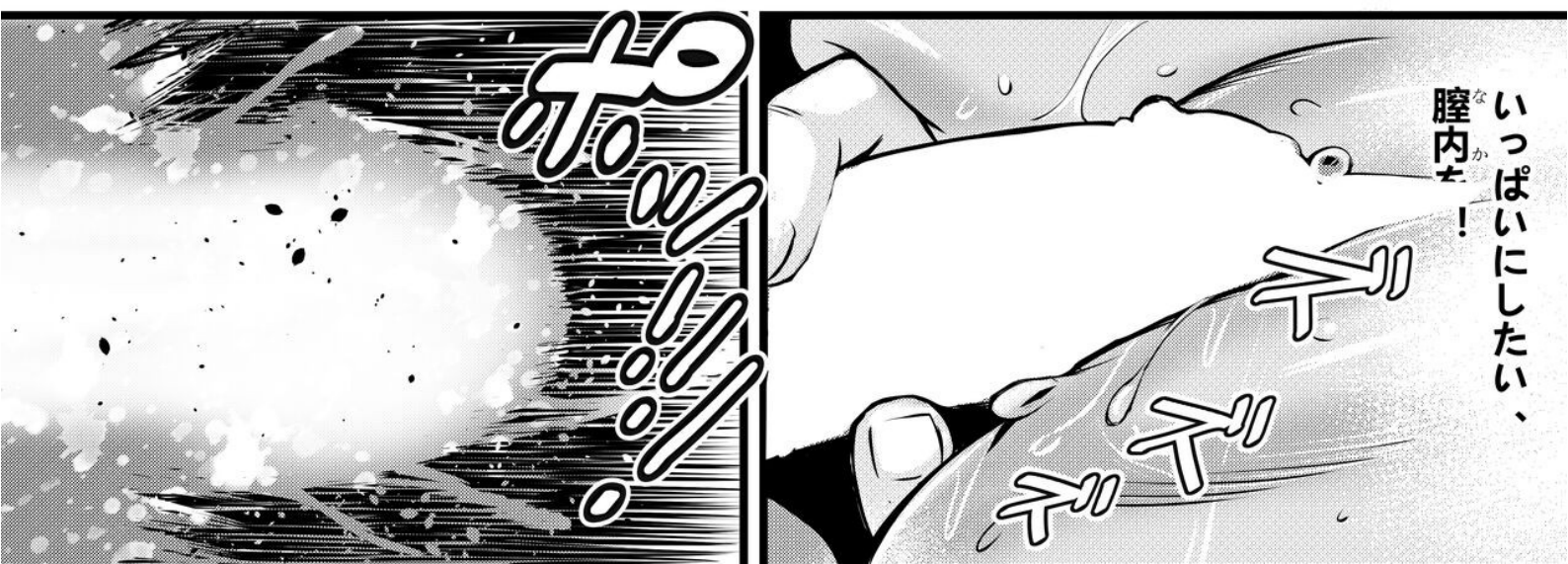
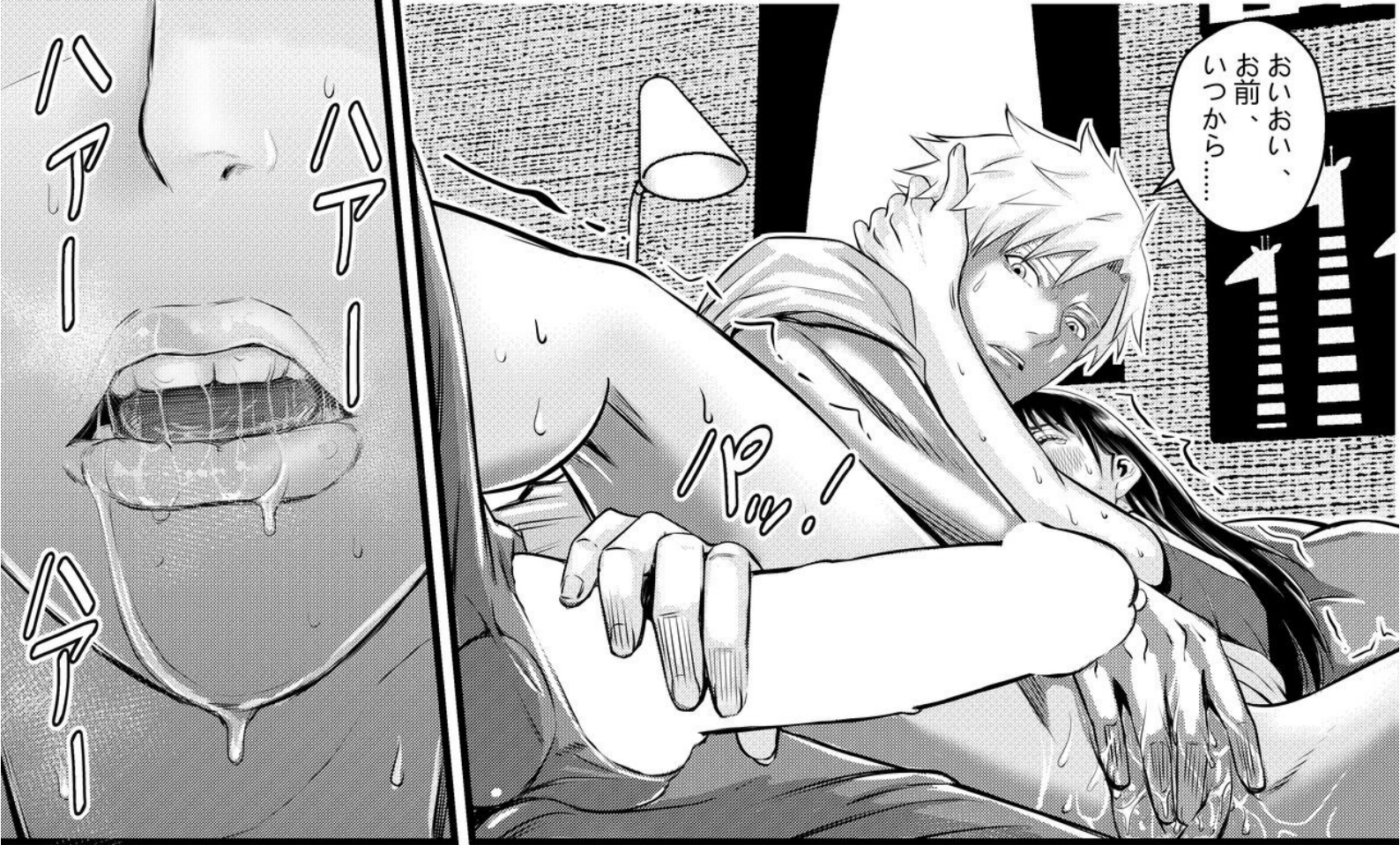


え?



いて!! 俺の髪を
引っ張るな!!

あ...











痛くないどころか...

ええ？
痛みが消えた...
痛くないどころか...

ザッ



こいつ 自分で
動いてんのか？

どこまで淫乱だ...!

気持ちいい!!!



じゃあ、
もっと感じさせて
あげようじゃないか。

俺としたことと……
体がついに彼に
合わせようとしてしまう……

この体はちんぽを
欲しがっている。
大きくて硬いやつを。
もっと深く挿して
ほしいと言ってくれた。

すばらしい
気持ちだわ……

ズンッ

ズンッ

ズンッ

抵抗できないなら、

楽しむしかない!!

俺の
ちんぽが
好き?

気持ちいい!!
ちんぽちょうだい!!
お願い!!

本心は
そう思っている
わけじゃない
のになんで
コントロール
できないんだ。

どうして
コントロールで
きないのだから。

もういい。



スゲーなあ？
潮吹いたね

潮吹き？
これが
潮吹きか。



やめてよ……
じやないと魂まで
吹き出されそう……



全く自分で
コントロールで
きない！

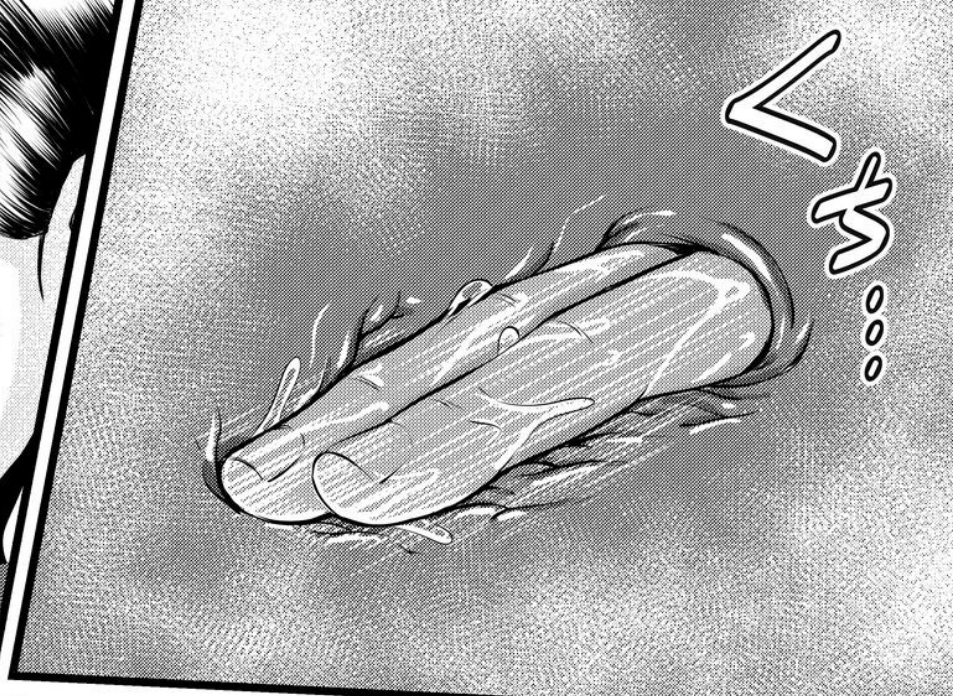
止まらない……



やっと止まった……
気持ちいい。

今まで
何度絶頂したことが。
これが女のセックスの
気持ちか。

やばすぎるー！



このまま
終わったと
思ってるの？

な...何を
するつもり？



なにこれ？
まだ潮吹きが
できるのか？



すごい、
ひっきり
なしだね

「そうだな、
あの時の二人も
そうしていた……」

でもあの時は
もっと嫌悪感が
あり、全然楽しく
なかった。

あ!!

あ!!



3、4回続けて
やったのに、
まだこんなに
もたくさんが。

あ!

あああ!!

おしっこだと
しても
多すぎないか?

手も疲れたよ。
不思議だなほの
かな香りがする……



これ以上やったら
俺は脱水して
死ぬかもしれない……

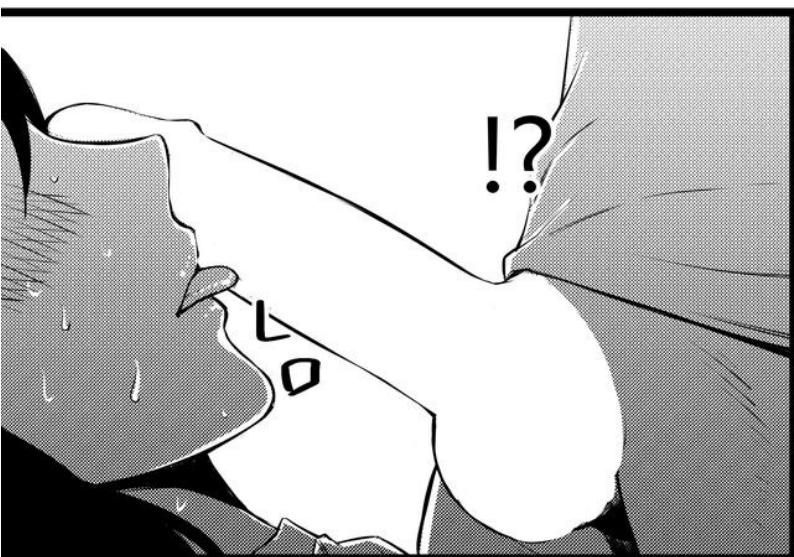
やっと終わった、



おい、
なんだその
満足な顔は？
これで終わりだ
と
思っているか。

俺の番だ

舐めろ



!?

レロ



ふざけるな。
お前の汚いちんぽを
舐めるだろ？俺は…



おっぱいで
挟みながら、
舐めてみる



え!? どうして？
マジで舐めちゃったよ？

れろ

れろ

どめーん!!



こいつのちんぽ
長いし太いし、

俺のより
ずっと……

ちゅっ

ちゅっ



おうぱいぞう

れろ

れろ

ぬる

る

ぬる

る

ほむ



そうぞれから
口にくわえて……

上手だなあお前、
この淫らな女



しかもめっちゃ
継続力あるから。

ぢゅっ！

ぢゅっ！

ぢゅご……

うらやましい

ほとんどの女が
これでイチコロ
じゃねえか。



おい！
もっと頑張れ！

もう我慢できない、

!?

P!!



気持ちよすぎだ!!

やっべ、

ぐく



あ

あ

でもなぜか
嫌じゃない

こいつは
乱暴すぎる……

ガッ
ゴッ

ゴッ

ん!!

ゴッ
ゴッ



おおおイク!!

ごば!!

ごぼ

ごぼ

ズェル

ズェル

ちゅぽ

めっちゃ
大量の精子が!
お腹の中に直撃!!

こいつに
犯されたり乱暴に
されてんのにな

なぜ快感なんだろうか。

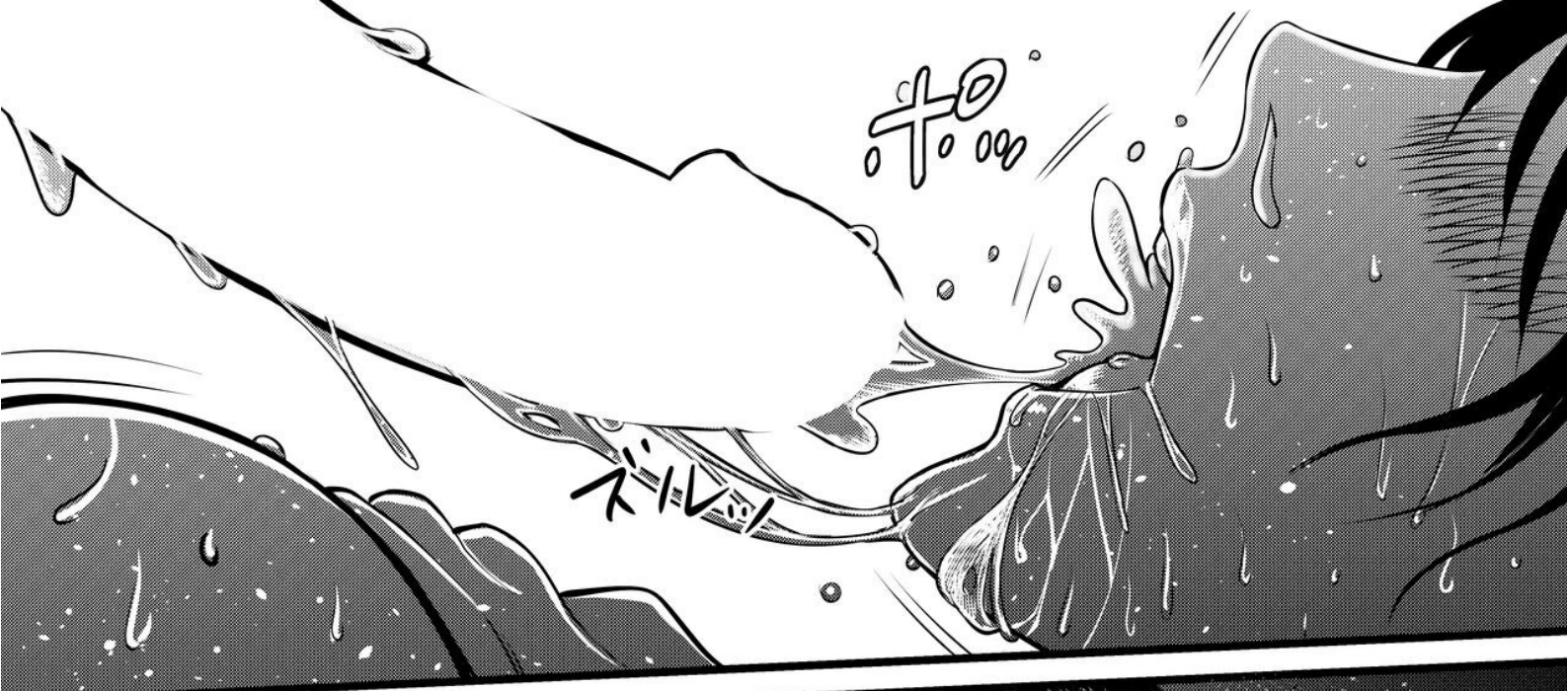
ふっふっ

ゆー

ぽん!!

止められないっ!!

ガク



精子はこんな
味だったのか……
美味……

ああ、もうこんな時間か。
今日はここまでにして……
おやすみ

朝目が覚めたとき、

06:02

昨夜のことは
ただの夢だと
思っていた。

びしょぬれに
なったシーツの血の
汚れを見て、

ガッ
ガッ

ガッ

やはり俺は
犯されていたことに
気づいた。

奇妙なことにセックスを
している間は男性と
しての意識はなく、
全身全霊で
楽しんでいるのは
一体どういうこと
なのだろうか。

意識も女性化してきたのか、
それとも俺がもともと
同性愛者だったのか。
それともこの体には
何かからくりが
あるのだろうか。

ガッ
ガッ
ガッ

女になってからまだ
三日しか経っていない。
これからどうすれば
いいのか。

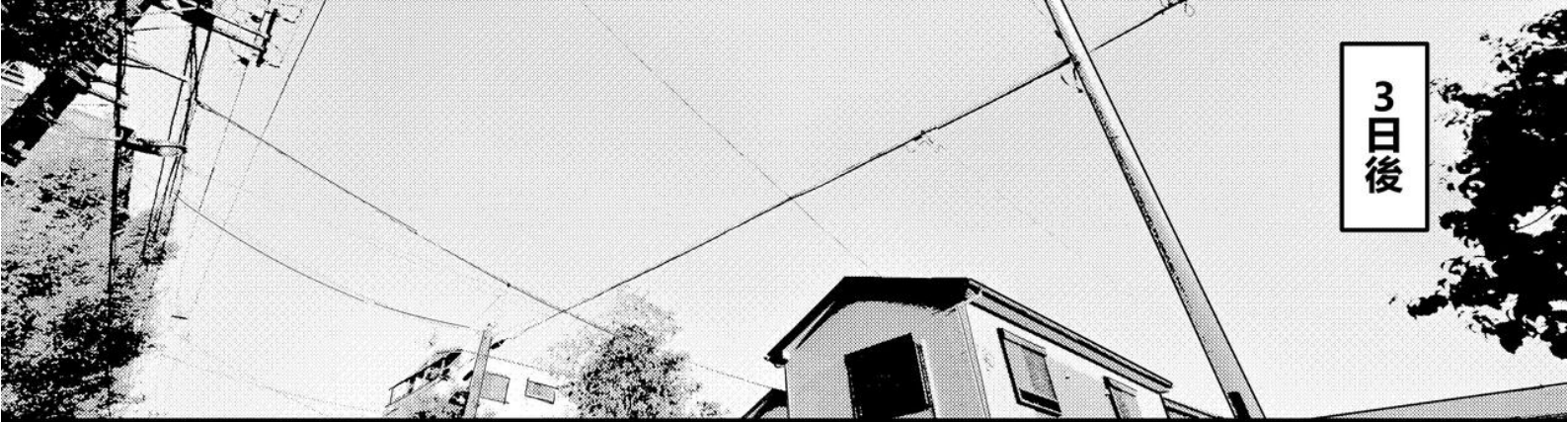
どうしよう……？

ガッ
ガッ





3
日
後





ガシャ

ほら今日は
いい天気だよ？

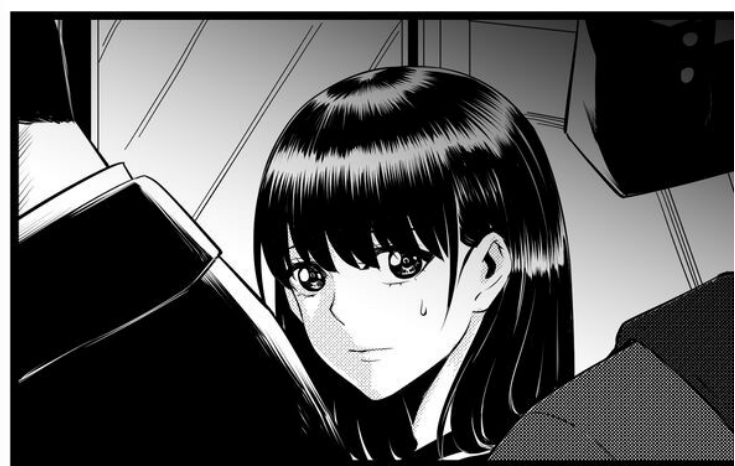
じゃあ、
行ってきます！

いってらっしゃい

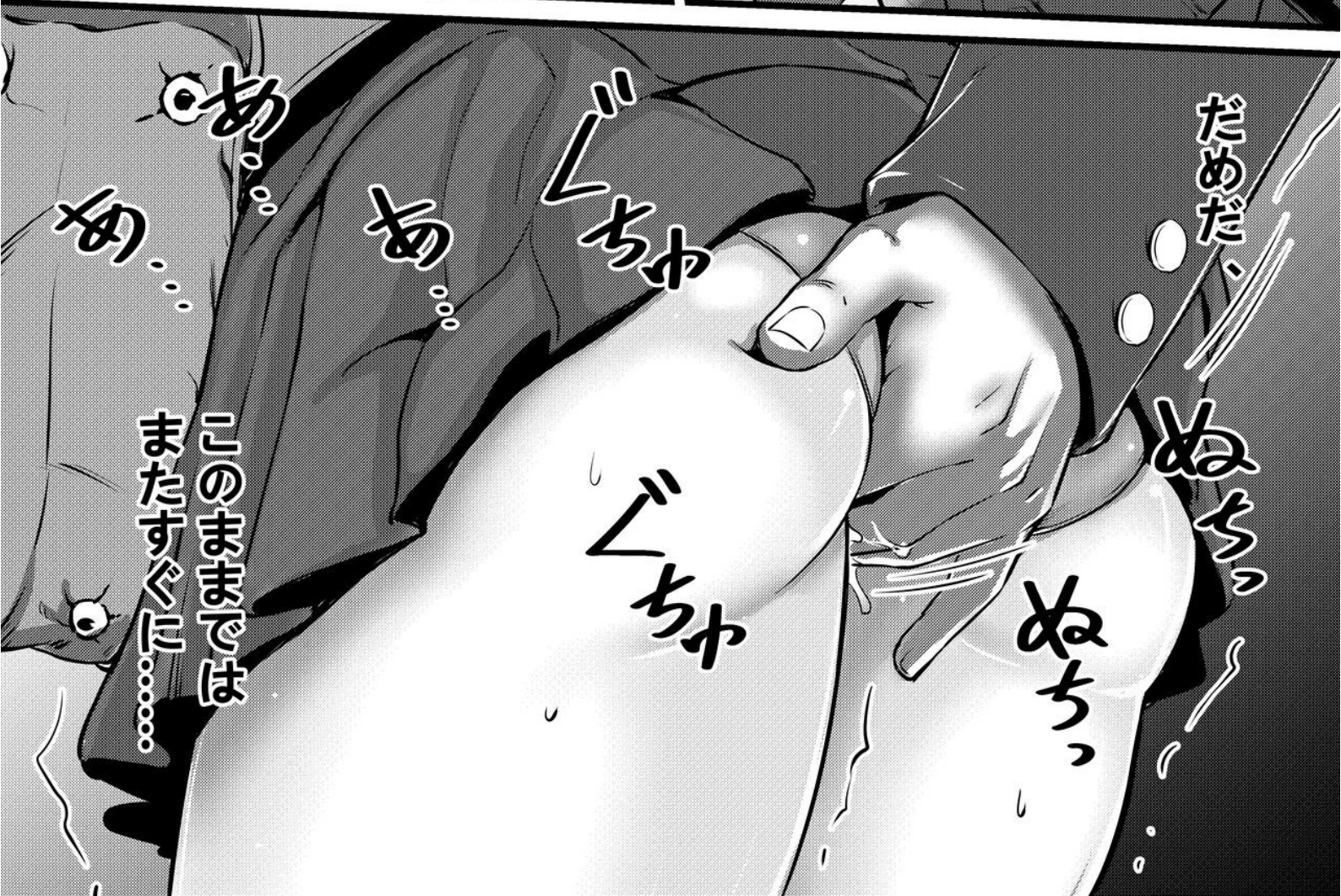
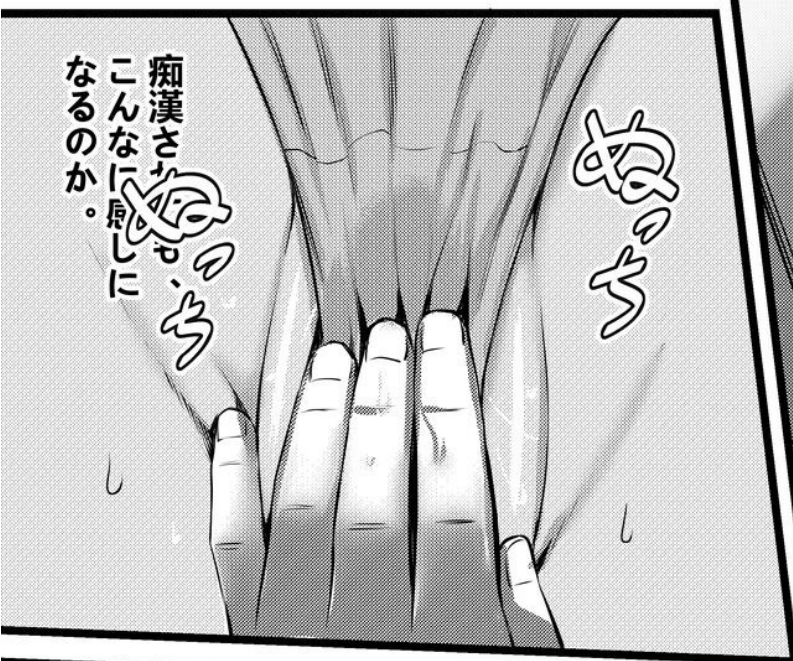
まさか俺が
女子高生と
して登校するとは……











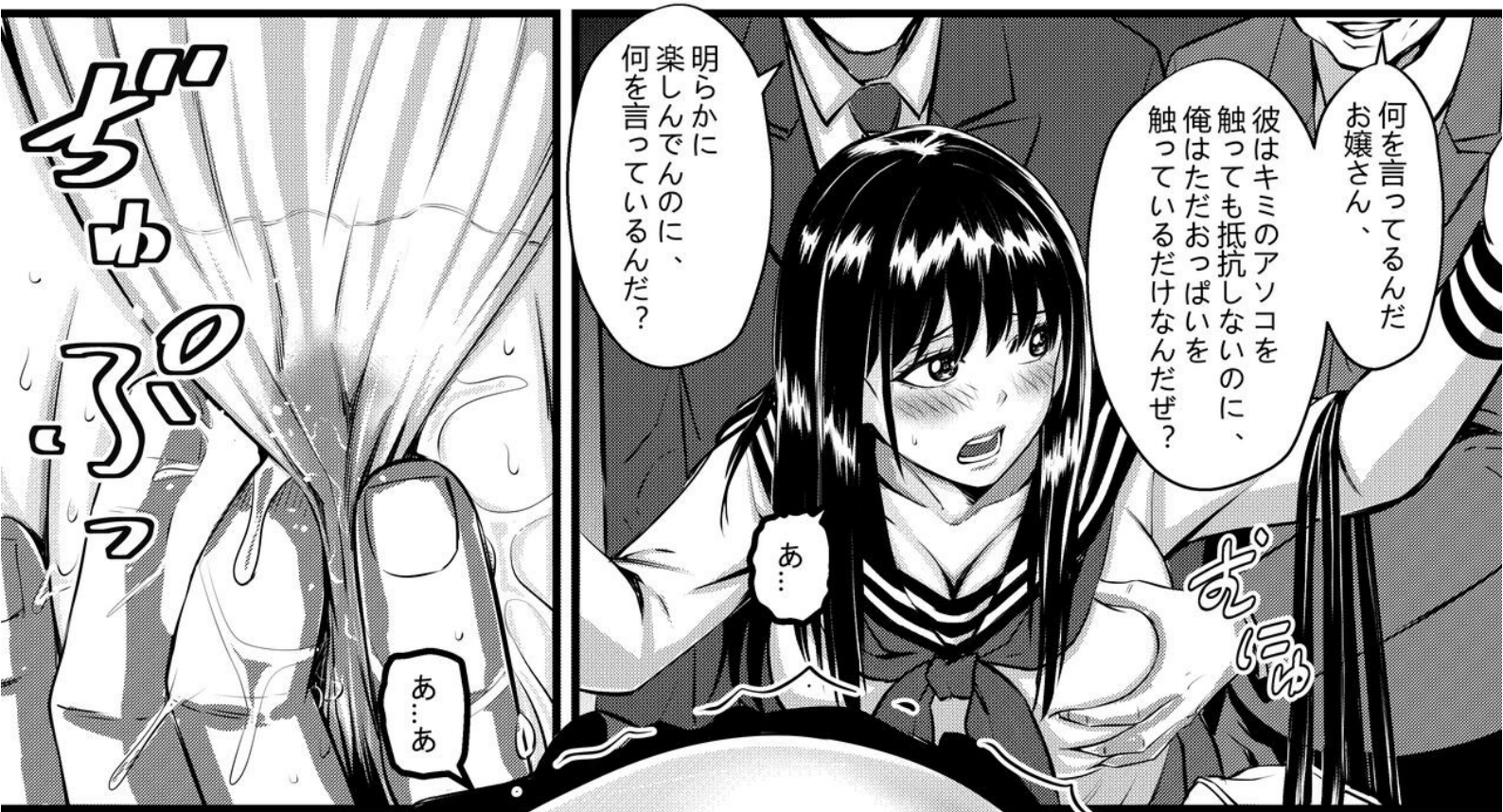


やめろ、
警察に
通報するわ……

え？嘘？
隣の人も……？

むにゅ

むにゅ



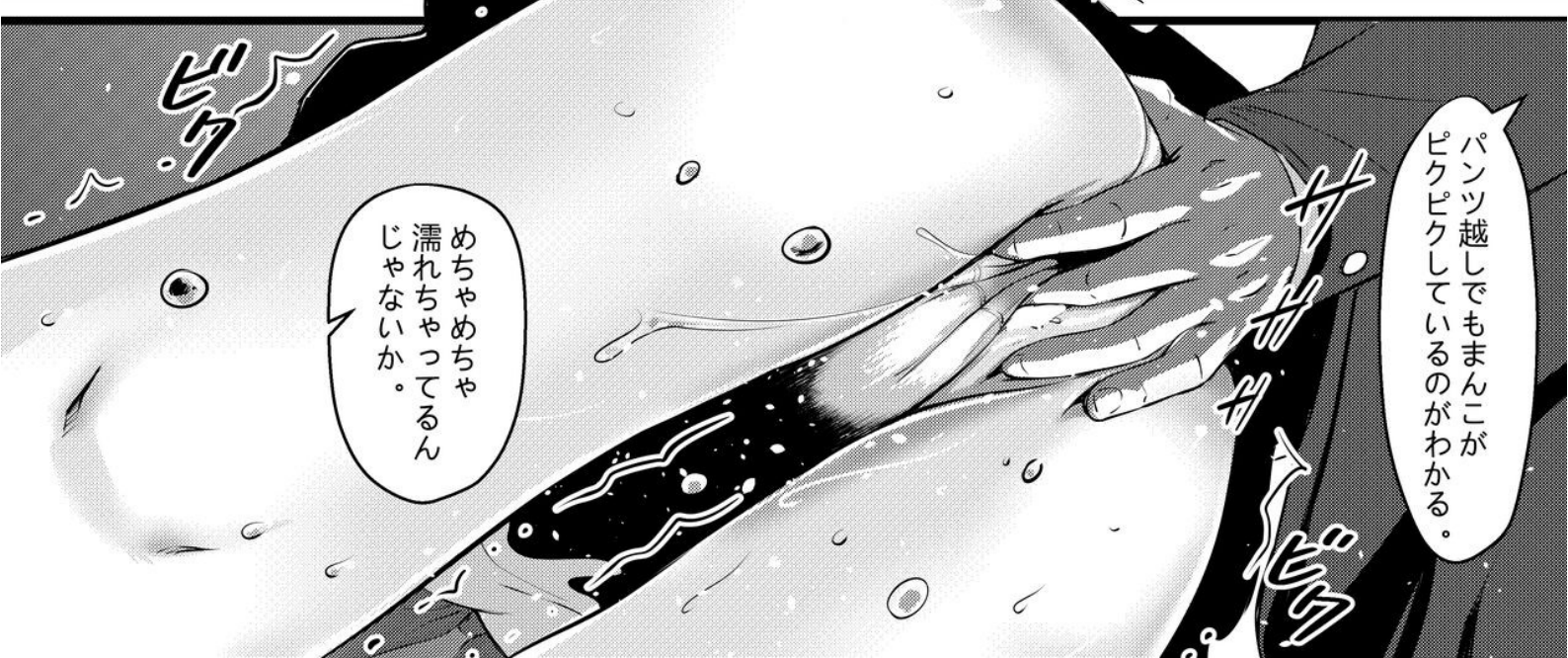
何を言ってるんだ
お嬢さん、

彼はキミのアソコを
触っても抵抗しないのに、
俺はただおっぱいを
触っているだけなんだぜ？

明らかに
楽しんでんのに、
何を言っているんだ？

あ……

あ……あ



パンツ越しでもまんこが
ピクピクしているのがわかる。

めっちゃめっちゃ
濡れちゃってるん
じゃないか。



くそ2人が
かりでおっぱいを
触ってきて気持ちいい

むにゅ

お尻もまんこも
気持ちいい……
この体は確かに変に

感じ易すぎるわ。
あの科学怪人の
せいだ……

誰が…誰が助けて!!
早く駅に着いて!!!

むにゅ

ぐちゃ

ぐちゃ

れろ

れろ

んっ♡

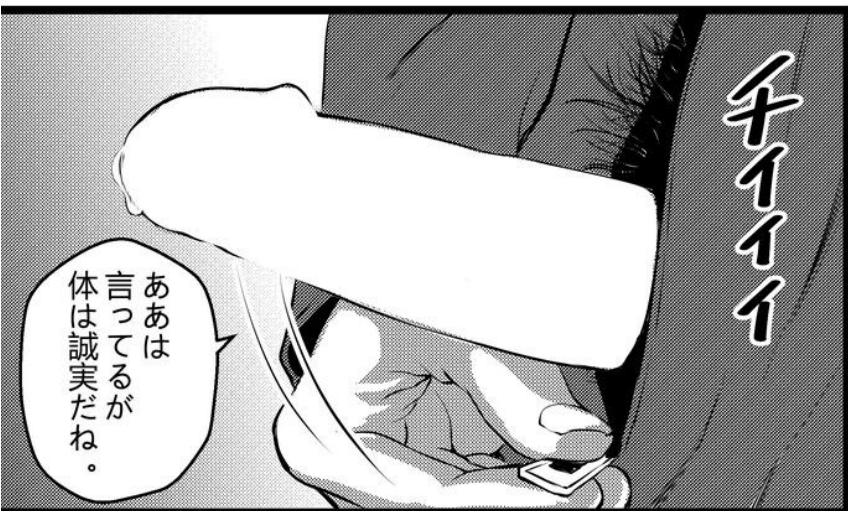
ちゅ

ちゅ



我慢できない、
キミもそろそろ
やられたいと思
っているか。
じゃないか。

やめて…

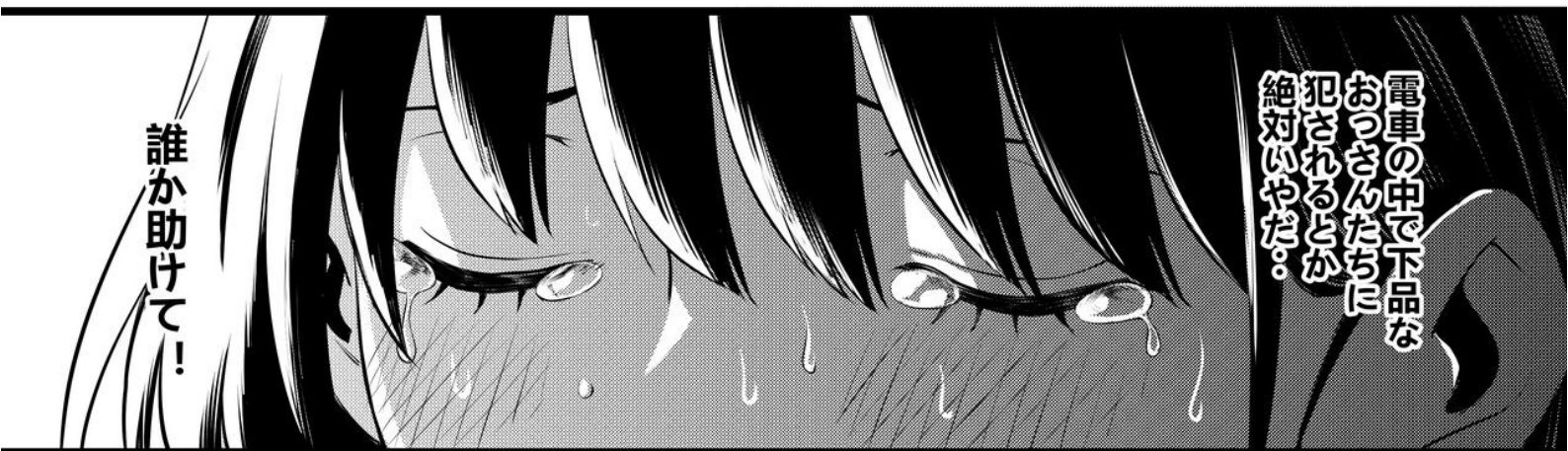
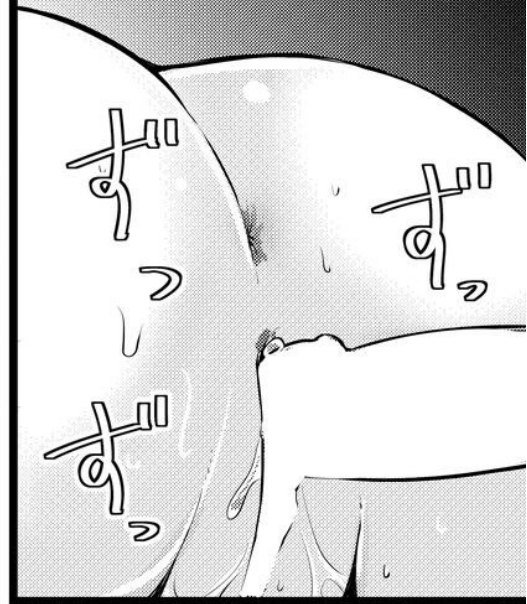


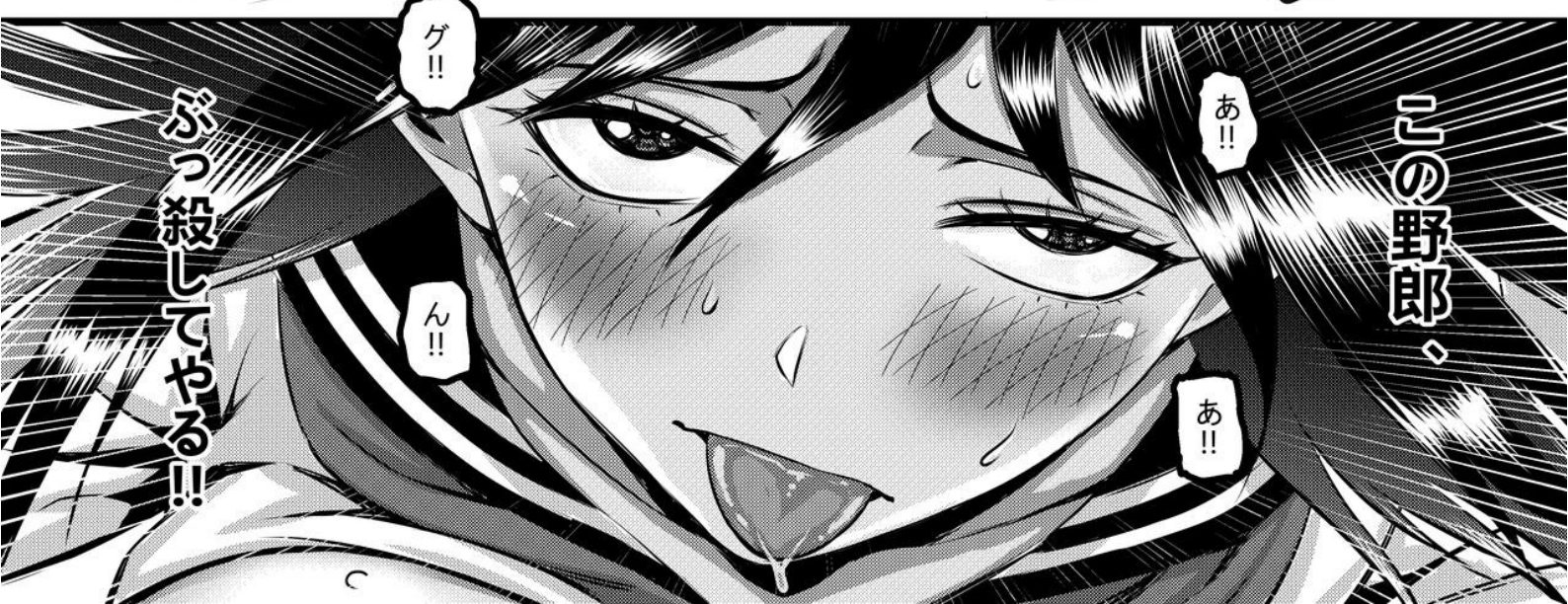
ああは
言ってるが
体は誠実だね。



こんなに
濡れてるよ







でも気持ちいい……



読者の皆さん、こんにちは。
モウガです。

「俺が淫乱な斎藤家の娘になってしまった件」へのご応援ありがとうございます。

今回は第3話です。

今回はページ数を増やし、

画面やストーリーにも心血を注ぎました。

できれば私の漫画にコメントをしてください。

お友達にお勧めして頂けたら幸いです。

感謝!!!



